

2012 年度報告書（研究員）

氏 名	網中 奈美江
職 位	GCOE 研究員
<p>研究概要</p> <p>2012 年度の主要な活動としては、GCOE 次世代ユニット研究「原発事故による『風評被害』農産物の流通をめぐる受苦（パトス）の共有」を執筆したことである。この研究では、福島第一原発事故後の「風評被害」によって販売が困難になった農産物の関係者（生産者・流通業者・消費者など）が「顔の見える関係」の中でどのように苦しみを共有したのかを明らかにすることを目的としている。しかし、初稿時点では「風評被害」の生じた時の社会の状況などにあまり言及していなかったなどの問題点があったため、コメントを受けて大きく書き直しを行い、最終稿は分かり易いものになったと思われる。現在、報告書の内容をコンパクトにまとめて投稿準備中である。</p> <p>また、その他の研究としては、日本の農政についての研究動向の分析を行った。政権交代によって大きく変化する農政についての昨年度の研究を、構造改革と戸別所得補償に関する論点を中心に分析した。分析の結果、構造改革による担い手育成という従来の手法には限界があり、もはや「担い手」ではなく崩壊しかけた地域農業の「守り手」が求められているという傾向が見られることがわかった。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>その他</p> <p>網中奈美江「原発事故による『風評被害』農産物の流通をめぐる受苦（パトス）の共有」 GCOE Working Papers 次世代研究 89.</p> <p>網中奈美江「研究動向 担い手・農地政策 構造改革と戸別所得補償制度の検証を中心に」 『農業と経済』第 79 巻， 第二号， 昭和堂， 2013 年 3 月.</p>	